

岩手県感染症週報

平成14年第20週（5月13日～5月19日）

岩手県結核 感染症情報センター

第20週の概要

1 類感染症

- 患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- 患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- 盛岡地区で腸管出血性大腸菌症の報告が3例ありました

4 類感染症（全数把握対象疾患）

- ツツガムシ病の報告が盛岡地区で1例、二戸地区で2例ありました。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

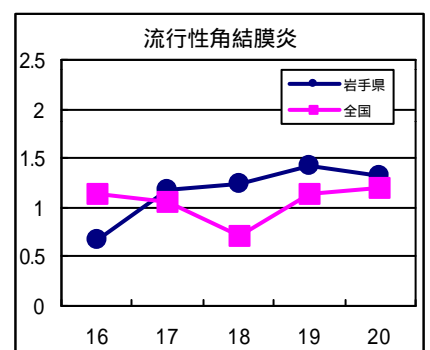
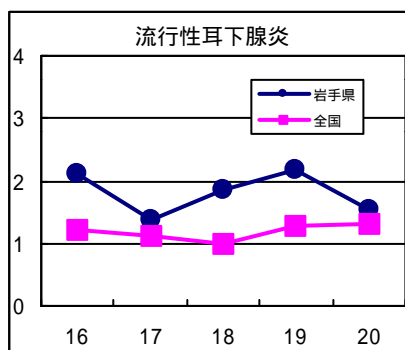
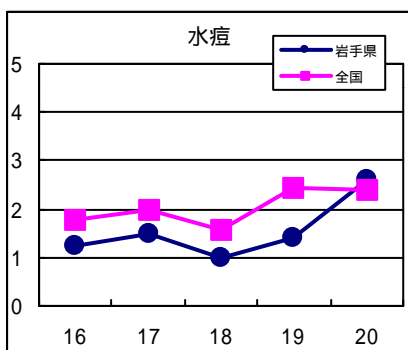
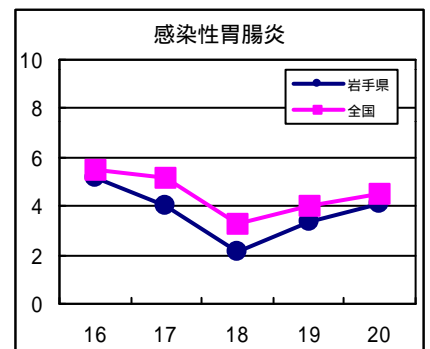
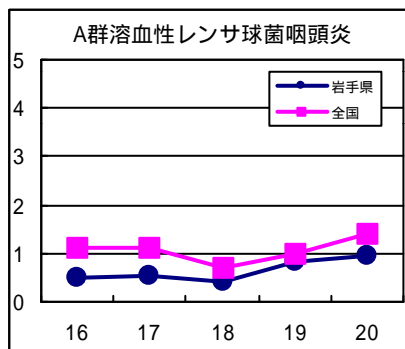
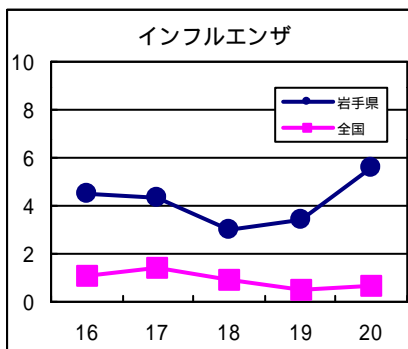
- インフルエンザは定点あたり患者数が5.6人であり、先週に引き続き増加しました。特に盛岡、水沢、宮古及び久慈地区で増加しています。また、定点あたり患者数が10人を越えている地区は、先週よりも減少した花巻地区に加え、水沢、宮古及び久慈地区です。

なお、先週に引き続き集団発生による学級閉鎖等も見られることから、学校あるいは地域によっては今後とも注意が必要です。

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は引き続き盛岡地区で患者数が多く、県全体では横ばい状態です。
- 感染性胃腸炎は盛岡、水沢及び一関地区で増加し、県全体でも増加しました。
- 水痘は盛岡、北上、水沢及び一関地区で増加し、県全体でも増加しました。
- 流行性耳下腺炎は水沢、一関地区でやや増加したものの、県全体では減少しました。
- 流行性角結膜炎は横ばい状態です。
- ヘルパンギーナが県全体でやや増加しました。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		16	17	18	19	20	
インフルエンザ	岩手県	4.5	4.32	3.02	3.42	5.56	↗
	全国	1.1	1.38	0.91	0.5	0.64	
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.03	0	0.03	0	→
	全国	0.05	0.07	0.05	0.06	0.09	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.5	0.53	0.42	0.84	0.95	→
	全国	1.12	1.12	0.72	1.01	1.41	
感染性胃腸炎	岩手県	5.13	4.05	2.16	3.34	4.13	↗
	全国	5.52	5.13	3.31	3.98	4.47	
水痘	岩手県	1.26	1.5	1	1.42	2.61	↗
	全国	1.78	1.99	1.56	2.45	2.4	
手足口病	岩手県	0	0	0.03	0.13	0.03	→
	全国	0.19	0.23	0.2	0.26	0.4	
伝染性紅斑	岩手県	0.24	0.18	0.13	0.11	0.16	→
	全国	0.68	0.59	0.41	0.42	0.57	
突発性発疹	岩手県	0.5	0.58	0.39	0.61	0.66	→
	全国	0.84	0.76	0.52	0.68	0.83	
百日咳	岩手県	0	0	0.03	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0	0	0	0	0.03	→
	全国	0.03	0.04	0.03	0.04	0.04	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.03	0	0.03	0.16	0.32	↗
	全国	0.13	0.17	0.15	0.26	0.47	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.08	0	0.05	0.13	0.05	→
	全国	0.15	0.19	0.14	0.17	0.17	
流行性耳下腺炎	岩手県	2.11	1.37	1.84	2.16	1.53	↘
	全国	1.21	1.13	0.98	1.28	1.32	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.05	0.01	0.03	0.07	0.05	
流行性角結膜炎	岩手県	0.67	1.17	1.25	1.42	1.33	→
	全国	1.13	1.06	0.71	1.13	1.2	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0.01	0	0.01	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→
	全国	0.03	0.04	0.05	0.08	0.09	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.2	0.2	0.05	0.55	0.15	↘
	全国	0.12	0.12	0.08	0.16	0.11	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0	0	0	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.04	0.04	0.02	0.03	0.04	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

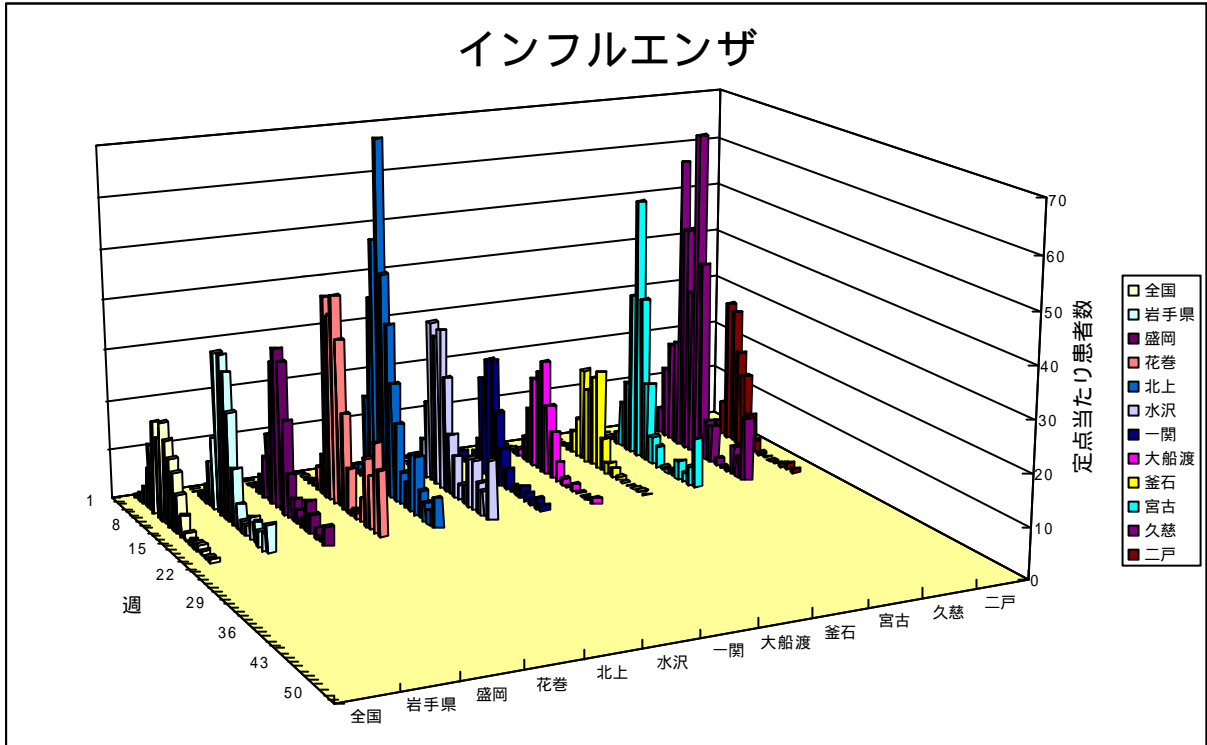
（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		16	17	18	19	20	累計	20	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	11
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	12	329
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	27
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	14
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	3	4	83	397
四類 感染症	アメーバ赤痢	1	0	1	0	0	2	5	157
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	4
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	32
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	6	10	433
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	15
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	97
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	2	4	56
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	41
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	6	282
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	3	42
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	1	1	3	5	7	82
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	20
	日本紅班熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	9	185
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	26
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	14
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	30
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	1	37	

今注目の感染症

インフルエンザ

この週の定点当たり患者数は5.6人と増加しました。これはゴールデンウィークで学校等が休みとなり、流行が一時下火となったものの、学校再開によって増加したと考えられます。特に水沢、宮古、久慈地区では患者が増加しています。依然としてインフルエンザウイルスによる集団発生とみられる学級閉鎖等が各地で相次いでおり、学校などでは今後とも注意が必要です。



ツツガムシ病

盛岡保健所管内でツツガムシ病患者の死亡事例が報告されました。

ツツガムシ病はダニの一種であるツツガムシの幼虫に刺された時、ツツガムシの幼虫に寄生していたリケッチアに感染して発症します。ツツガムシは山林や草地の土の上に生息していますが、幼虫の時期に一度だけ地表に出て、野ネズミなどの動物に吸着して組織液を吸います。

これからの季節（春～初冬）は本病の発生時期です。農作業等の屋外作業の時は長袖、長ズボン、長靴、手袋等を着用し、素肌の露出を避けましょう。また、農作業の後は必ず着替え、入浴をしましょう。農作業から1週間前後に高熱、発疹、刺し口等の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診し、草地などの感染のおそれのある場所に立ち立ったことを申し出ましょう。

病原体検出情報

第15週に採取し流行性耳下腺炎患者の咽頭ぬぐい液からムンプスウイルスを1例検出しました。

第16週に採取した無菌性髄膜炎患者の咽頭ぬぐい液からムンプスウイルスを1例検出しました。

第17週に採取した無菌性髄膜炎患者の髄液からムンプスウイルスを1例検出しました。

第15週に採取した流行性角結膜炎患者の結膜ぬぐい液からアデノウイルス37型を1例検出しました。

第20週に採取した溶レン菌咽頭炎患者の咽頭ぬぐい液からA群溶血性レンサ球菌T1型を1例検出しました。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患の集団発生による学級閉鎖等が3件ありました。

安代町立田山中学校	2学年	5月16日5校時から17日
大東町立興田中学校	2学年	5月16日5校時から17日
安代町立新町幼稚園	全施設	5月22日から23日

本県では、この週までに63施設でインフルエンザ様疾患による集団発生のため、学年閉鎖等の措置を行っています。全国では、前週までに8,065施設が同様の措置を行いました。

医療機関からの情報

医療機関で患者さんを診療している先生方からの情報をお待ちしております。

医療現場の生の声をぜひお聞かせください。

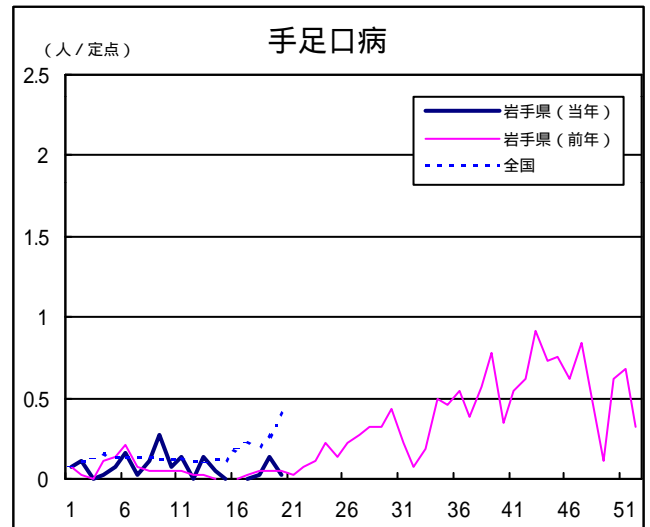
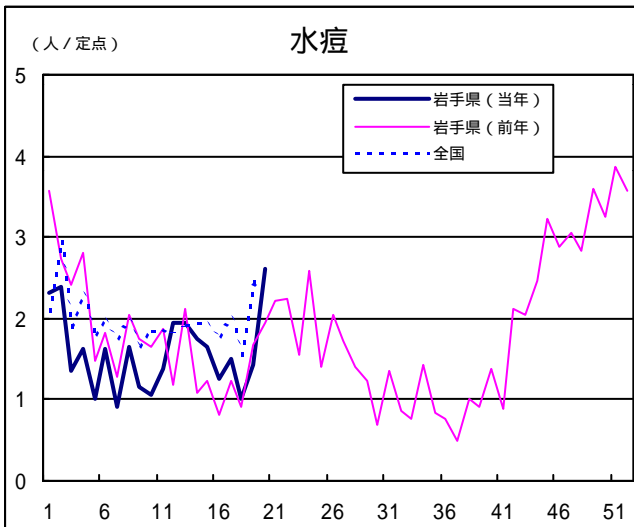
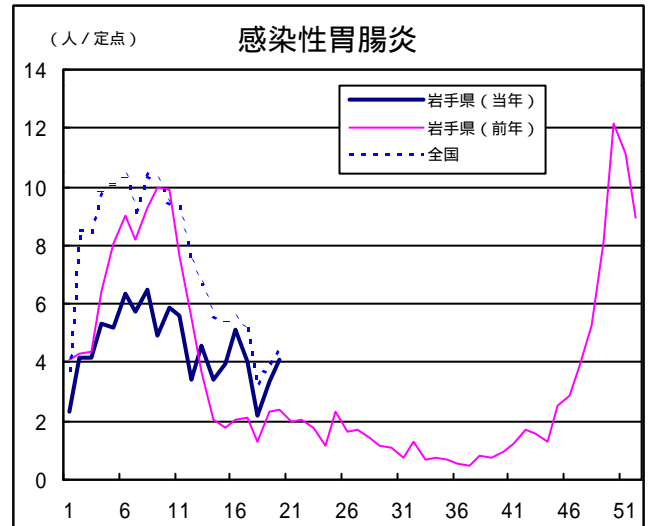
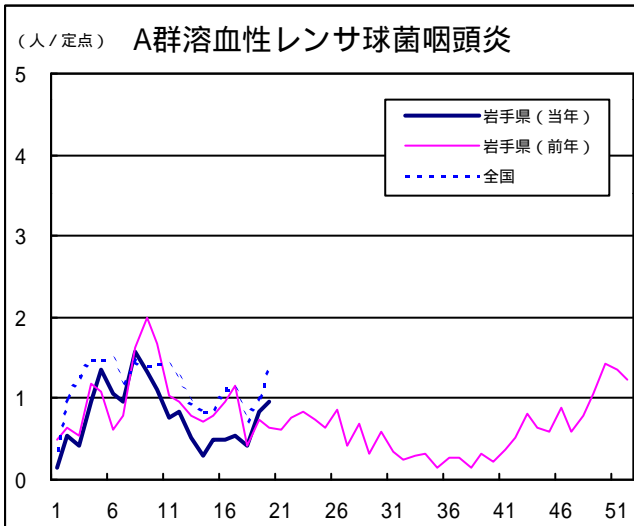
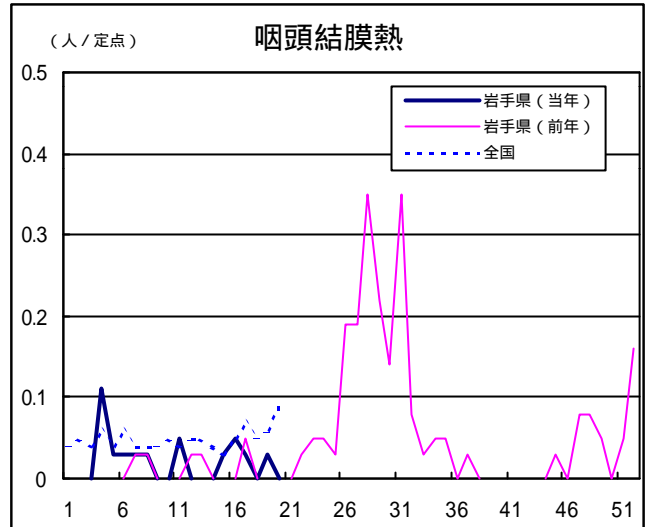
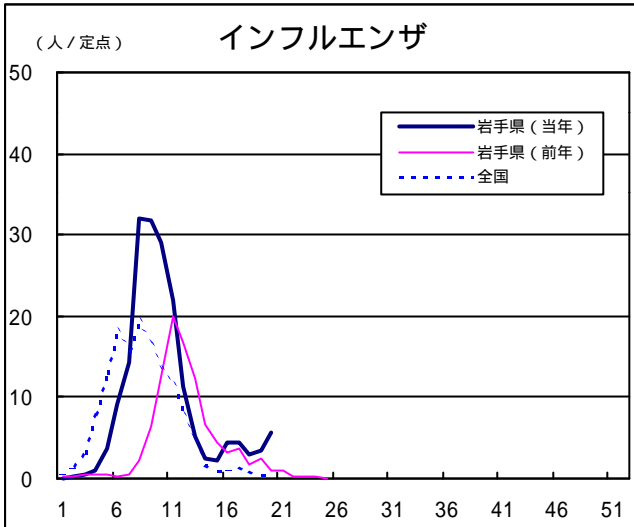
Q & A

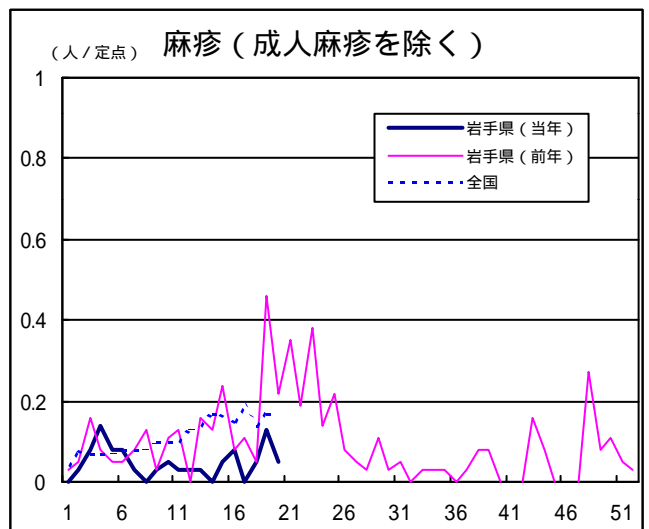
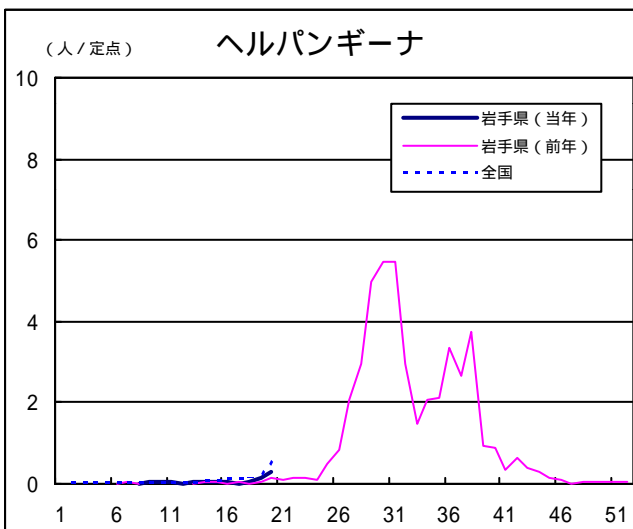
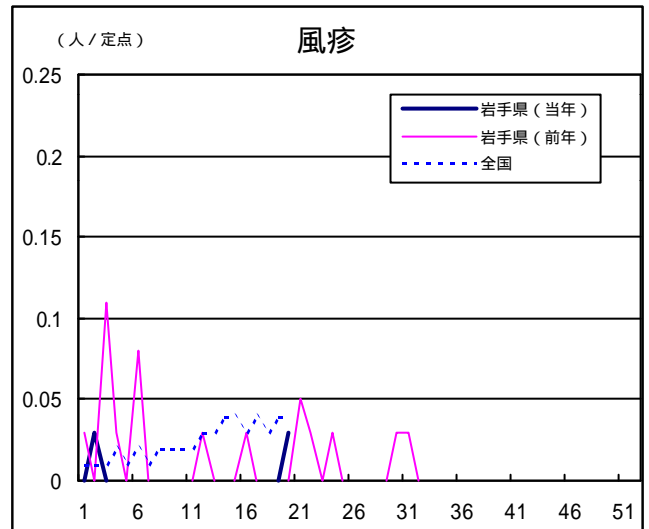
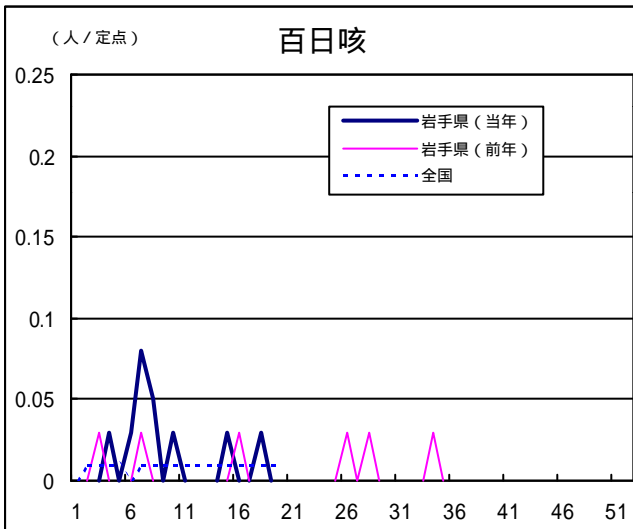
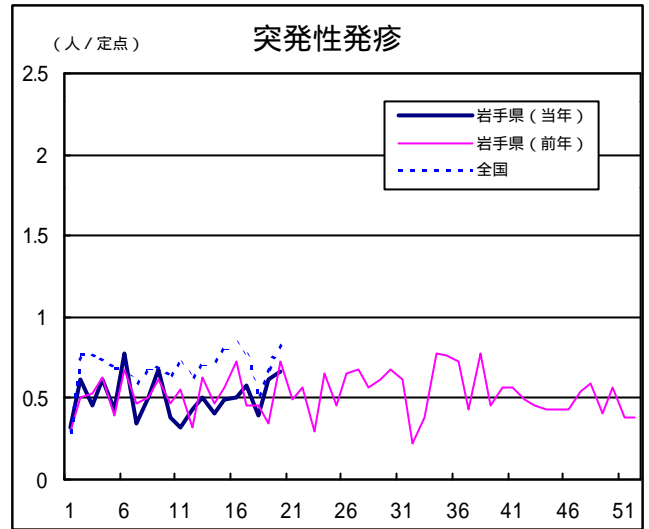
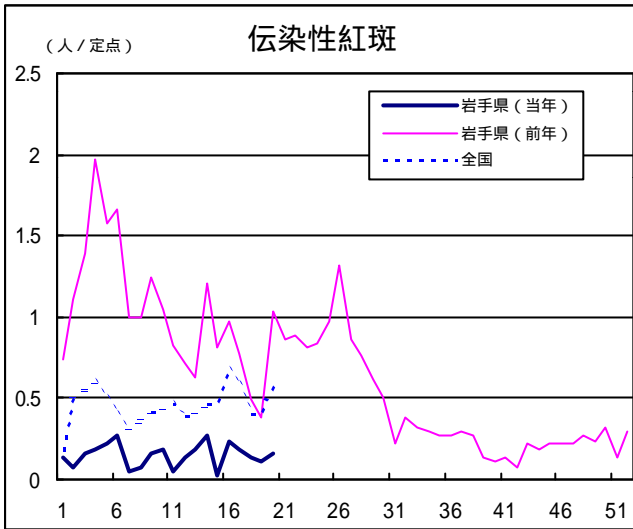
読者の皆様からのご質問をお受けしております。

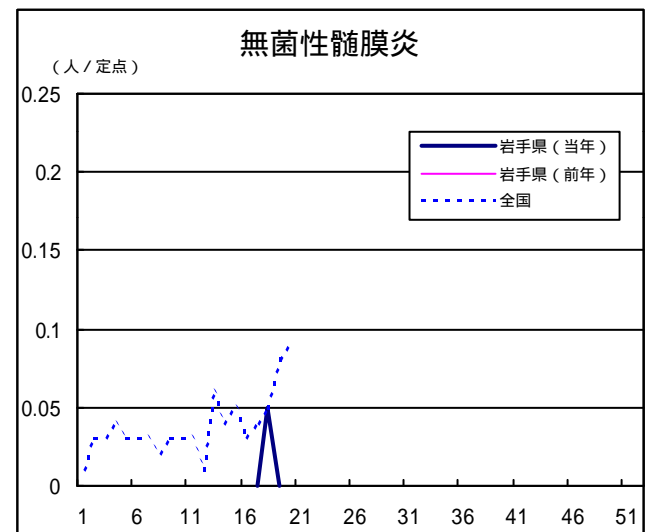
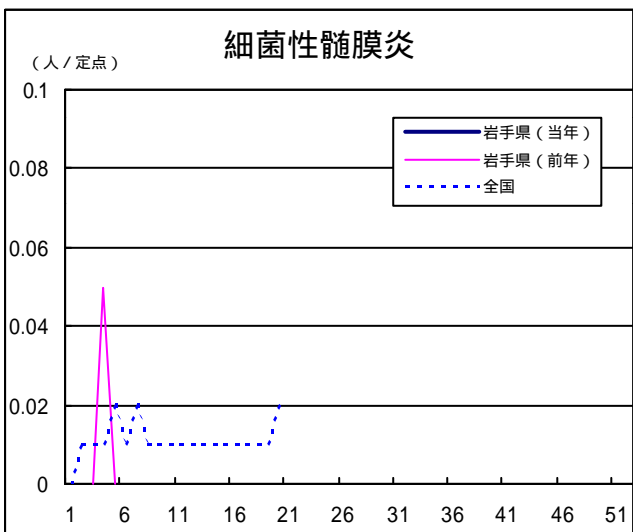
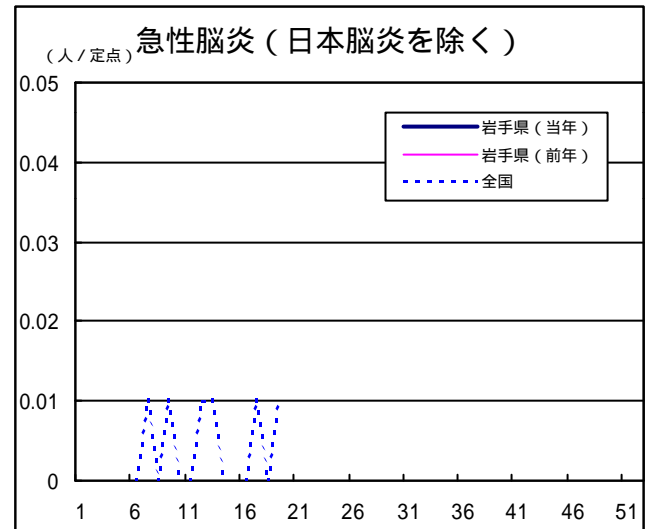
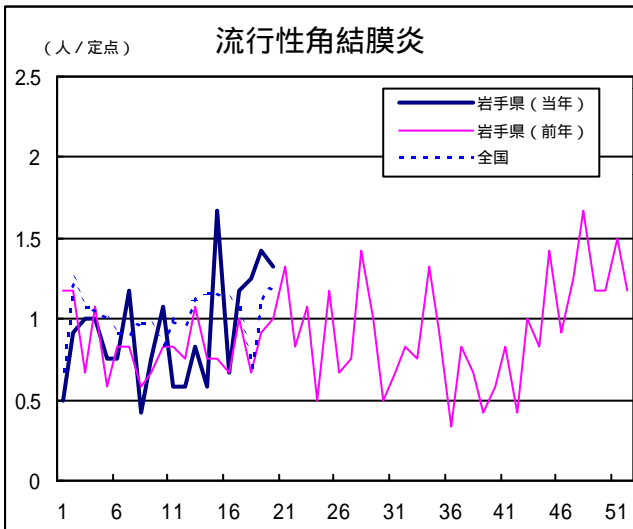
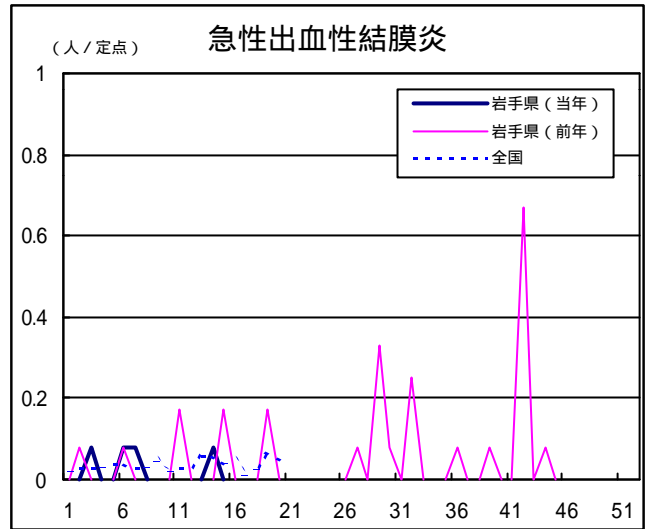
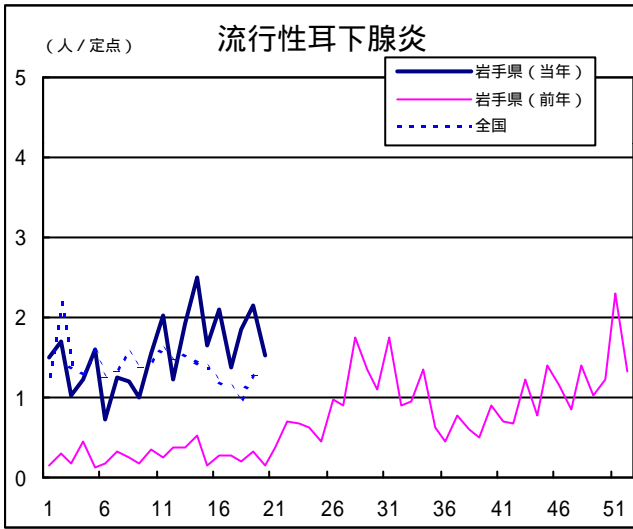
お寄せいただいたご質問につきましては、この欄でお答えします。

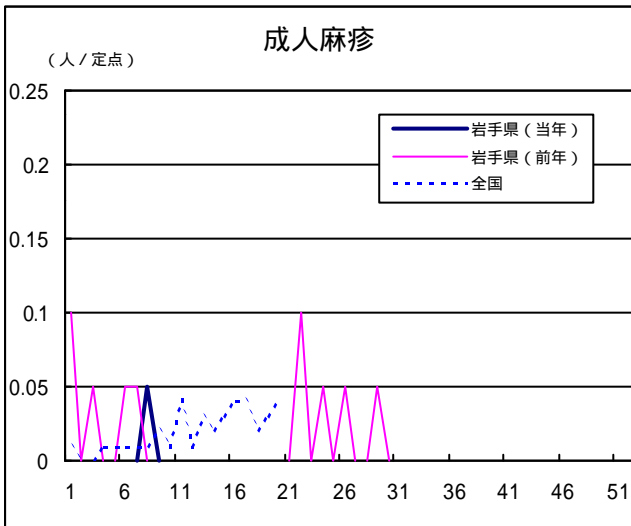
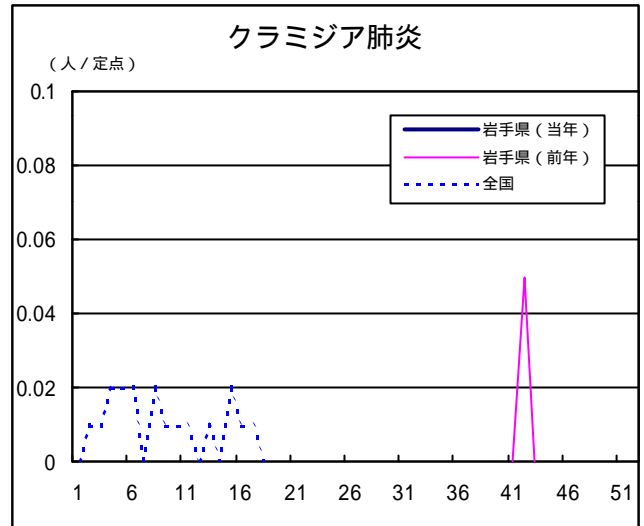
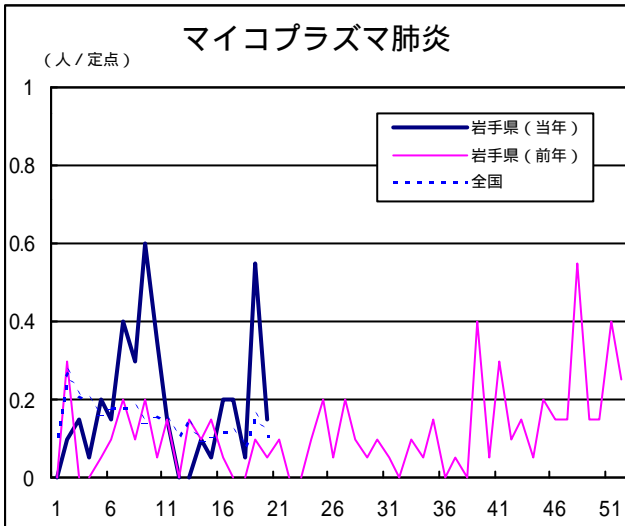
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手県感染症週報 平成14年第20週 平成14年5月23日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県結核・感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>

<岩手県保健福祉部保健衛生課>